

佐倉フィルハーモニー管弦楽団

# 第58回定期演奏会

2013年6月30日(日) 14:00 開演

会場：佐倉市民音楽ホール(京成臼井駅南口徒歩4分)

指揮：小森 康弘

曲目：メンデルスゾーン／序曲「フィンガルの洞窟」作品26  
スメタナ／交響詩「ボヘミアの森と草原から」(「わが祖国」より)  
シューマン／交響曲第3番変ホ長調 作品97「ライン」



## 小森 康弘 Yasuhiro KOMORI (指揮)

栃木県宇都宮市生まれ。宇都宮大学教育学部音楽科および東京藝術大学音楽学部指揮科首席卒業、同大学院修了。

在学中の2004年4月、世界的指揮者クルト・マズアによるマスタークラスの受講生に抜擢され、指導を受けた。同年6月、首席卒業生による芸大定期『新卒業生紹介演奏会』に出演、芸大フィルハーモニアを指揮する。また2004年、05年ウィーン夏期音楽セミナーに参加。成績優秀者としてファイナルコンペティションに出演、第3位を受賞した。2006～07年、ウィーン国立音楽演劇大学オーケストラ指揮科に留学。その後ドイツのミュンヘンに拠点を移し、バイエルン放送交響楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団において研鑽を積んだ。

指揮を松尾葉子、小林研一郎、佐藤功太郎、田中良和、小田野宏之、ハンス＝マルティン・シュナイト、ウロシュ・ラヨヴィッツ、エルヴィン・アチェルの各氏に師事。

これまでにウィーン・プロ・アルテ・オーケストラ、ウクライナ国立ルガンスク・フィルハーモニー管弦楽団、東京ユニバーサルフィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、N響メンバーによるアンサンブル等、国内外の多数のオーケストラを指揮する。

現在、東京音楽大学指揮科助手として後進の指導も行っている。



sakura  
philharmonic  
orchestra

主催：佐倉市民音楽ホール・佐倉フィルハーモニー管弦楽団

[http://www.geocities.jp/sakura\\_ph\\_or/](http://www.geocities.jp/sakura_ph_or/)

後援：佐倉フィルハーモニー管弦楽団友の会



## メンデルスゾーン作曲／序曲「フィンガルの洞窟」

ドイツロマン派の作曲家・指揮者のフェリックス・メンデルスゾーン（1809年-1847年）がスコットランドで得た靈感をもとに作曲、1832年にロンドンで初演した演奏会用序曲です。メンデルスゾーンを嫌っていたワーグナーさえもこの作品を「一流の風景画のような作品」として絶賛していたそうです。

1820年代終盤、スコットランドを訪れたメンデルスゾーンは、嵐の夜にヘブリディーズ諸島スタファ島の観光スポットのフィンガルの洞窟を訪ねて、非常に強い感銘を受け、すぐに冒頭の主題を書き下ろしたのです。作品は作曲者により「ヘブリディーズ諸島」と名づけられましたが、総譜にあった名称から、通称「フィンガルの洞窟」と呼ばれています。

作品は2つの主題で構成されています。冒頭の主題は、洞窟を訪れた後に書き付けた主題で、主にヴィオラ、チェロ、ファゴットによって呈示されます。この情緒的な主題は、洞窟の力強さと心打つ美景を想起させつつ、侘しさや孤独感を表出することが意図されています。第2主題は、海の動きや「逆巻く波」が描写されています。標準的なソナタ形式で作曲されており、コーダで最初の主題が戻ってきて結びとなります。

## スメタナ作曲／連作交響詩「わが祖国」から第4曲「ボヘミアの森と草原から」

ベドルジハ・スメタナ（1824年-1884年）は、チェコの作曲家・指揮者・ピアニスト。スメタナは、チェコの国民楽派を発展させた先駆者で、チェコ音楽の祖とみなされています。チェコ国民音楽として記念碑的な作品を交響詩の連作の形で創作しようと考え、6曲からなる「わが祖国」を作曲しました。第1曲「ヴィシエフラド」は1874年、最後の第6曲「プラニーク」は1879年に完成し、スメタナはこの連作「わが祖国」をプラハの街に捧げました。全6曲が1882年に初演された後、この曲はチェコ国家様式を正真正銘に表現しているとして、チェコの音楽愛好者たちから絶賛されました。ヴァルタヴァ川を描写した第2曲「ヴァルタヴァ」（ドイツ語名モルダウ）は、スメタナの管弦楽曲の中でも最も知られ、高い人気を誇る作品です。

第4曲「ボヘミアの森と草原から」もモルダウに劣らぬ名曲です。1875年に作曲・初演。スメタナは「これは私がボヘミアの田園風景を眺めた時、心に呼び起こされる全ての感情を音で表現した曲である。木立、牧場、森、肥沃な大地、だれもがこれを聴く時、私が何を描いたのか分かってくれるだろう。」と述べています。

曲は、全楽器のフォルテッシモによる、まるで深い森や大草原が風で揺れ動くようなフレーズで始まります。やがて風が収まるように次第に低音弦に細かな動きが残されると、静かにコラール風のメロディが広がっていきます。曲が進むと、収穫を喜ぶ農民の踊り、祈りの情景、喜びの歌が繰り返されます。

後半は、チェコの国民的舞踏でもあるボルカが盛大に続けられます。遠いボヘミアの風景を想像してみてください。

## シューマン／交響曲第3番変ホ長調「ライン」

ロベルト・アレクサンダー・シューマン（1810年-1856年）は、ドイツの作曲家、音楽評論家。ロマン派音楽を代表する一人です。

交響曲第3番「ライン」は、4曲の交響曲の中で最後に完成された曲です。1850年、ドレスデンからライン川沿いのデュッセルドルフに移住したすぐ後作曲されたために、一般的に「ライン交響曲」と呼ばれます。1851年初演。曲の随所にライン地方の気分があふれています。この頃すでにシューマンは、病気がちだったのですが、この転地が、明るく開放的な雰囲気のある曲を生む動機になったようです。

### 第1楽章 ヴィヴァーチェ

ベートーヴェンの交響曲第3番「英雄」と同じ調性、同じ3/4拍子で始まります。スケール感のある雰囲気のある第1主題で始まり、ライン川の雄大さをイメージさせてくれます。第2主題は、オーボエとクラリネットが短調で表れます。かなり長い展開部では、短調の第2主題が中心に出てきます。ホルンに最初の雄大な旋律が出てくると、再現部になります。コーダは、金管楽器のフォルテッシモを交えて明るい雰囲気で終わります。

### 第2楽章 スケルツォ モルト・モデラート

ファゴット、ヴィオラ、チェロで始まる主題は舞曲風の素朴さがあります。途中、細かい音の動きが入った後、ホルンなどによって短調の主題が出てきます。ライン川の沿岸ののどかな風景を彷彿とさせるような魅力的な楽章です。

### 第3楽章 モデラート

木管楽器で優しい感じの主題が演奏されて始まり、続いて出てくる半音で上にのぼっていくような音型は楽章を通じて何度も登場します。優しさや愛情にあふれる楽章となっています。

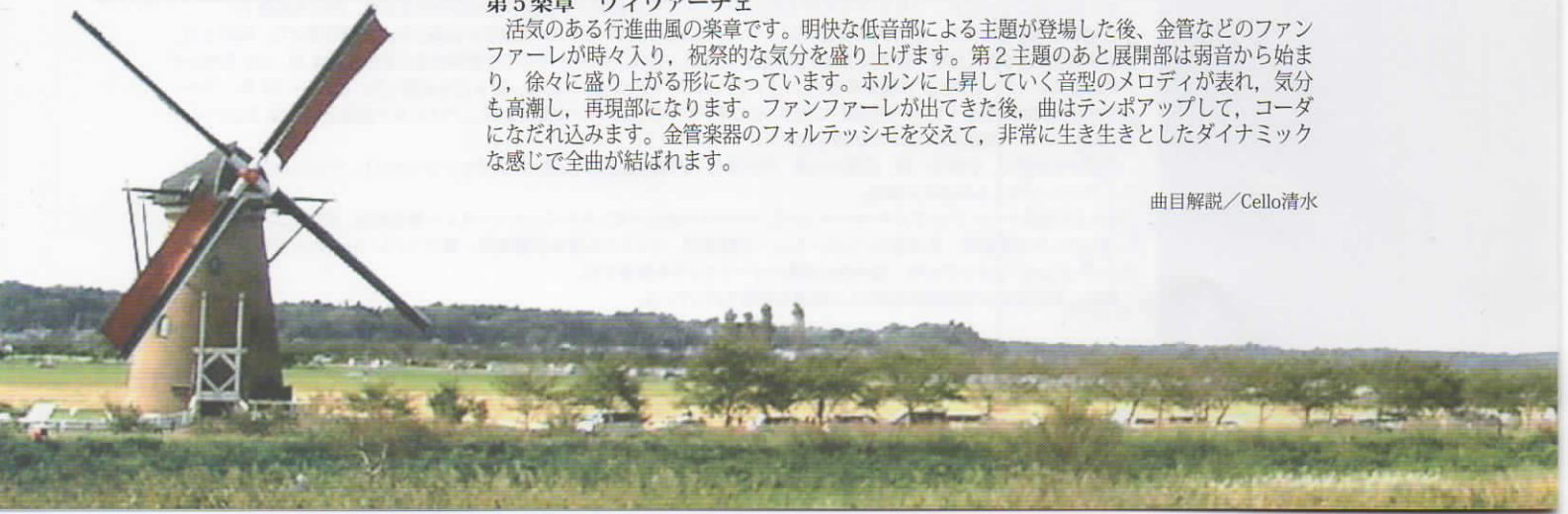
### 第4楽章 マエストーゾ

ケルンの大聖堂の印象を元にした荘厳な教会音楽を思わせる楽章です。まず、ホルンとトロンボーン（ここで初めて登場）によってゆっくりとした壮麗なテーマが出てきます。中間部でも同じ雰囲気の下、カノン風に進行します。最後は、金管のファンファーレなども加わり、オルガン風の荘重な響きとなります。

### 第5楽章 ヴィヴァーチェ

活気のある行進曲風の楽章です。明快な低音部による主題が登場した後、金管などのファンファーレが時々入り、祝祭的な気分を盛り上げます。第2主題のあと展開部は弱音から始まり、徐々に盛り上がる形になっています。ホルンに上昇していく音型のメロディが表れ、気分も高潮し、再現部になります。ファンファーレが出てきた後、曲はテンポアップして、コーダになだれ込みます。金管楽器のフォルテッシモを交えて、非常に生き生きとしたダイナミックな感じで全曲が結ばれます。

曲目解説／Cello清水





## Sakura Philharmonic Orchestra

佐倉フィルハーモニー管弦楽団メンバー

Concert Master：青木 晶央

**1st Violin**

岩渕 善彦  
清水 俊子  
島津 智恵  
♩ 庄司 睦美  
♪ 浅田 桂子  
♪ 久間 好高  
♪ 久間 知恵子  
♪ 高橋 雅英  
♪ 永野 武  
♪ 松岡 裕樹  
♪ 武藤 貴子

**2nd Violin**

安部 葉子  
天本 幸江  
佐藤 邦子  
竹本 康史  
♩ 二宮 伸雄  
和田 隆行  
♪ 井上 さとみ  
♪ 遠藤 利幸  
♪ 須永 恒雄  
♪ 野中 祐子

**Viola**

安部 文人  
♩ 河辺 修次  
♪ 上原 剛介  
♪ 大磯 美沙子  
♪ 亀井 友莉  
♪ 久保 暁  
♪ 佐野 翔太郎  
♪ 内藤 賢吾  
♪ 万歳 美彩希

**Cello**

菅野 修平  
後藤 庸一  
♩ 清水 裕幸  
福島 かおる  
松浦 晴彦  
♪ 上田 哲也  
♪ 門内 麻子  
♪ 山内 美佐子

**ContraBass**

♩ 西中 久美子  
三宅 和也  
♪ 赤岡 秀紀  
♪ 木本 稔  
♪ 城 満太郎  
♪ 宮野 良平

**Flute**

♩ 阿部 恵美  
土方 理絵  
三村 さゆり  
柳田 晴生  
山田 綾乃

**Oboe**

古滝 百合絵  
♩ 辻野 豊博

**Clarinet**

石鍋 豊和  
♩ 梨木 美智  
原口 豊隆  
福士 未樹

**Fagotto**

♩ 大平 麻海子  
♪ 大矢 真由美

**Horn**

岡 裕昭  
小林 昌樹  
♩ 阪本 薫子  
柴田 かおる  
森川 博邦

**Trumpet**

石井 発雄  
♩ 大木 基之  
♪ 桑原 七男

**Trombone**

阿部 博  
柴田 孝一  
♩ 村上 茂夫

**Tuba**

♩ 氏家 豊

**Percussion**

♩ 新井田 久美子  
若菜 真紀子  
♪ 近藤 博志

♩：パートリーダー  
♪：エキストラ

## 団員募集

【募集楽器】 弦楽器：Vn. Va. Cb.

管楽器：Tp.(1名)、Hr.(1名)、  
Fg.(2名)、Ob.(1名)

【練習日】 毎週日曜日 18:00～21:00

【練習会場】 佐倉市民音楽ホール練習室 他

【問い合わせ】 [http://www.geocities.jp/sakura\\_ph\\_or/](http://www.geocities.jp/sakura_ph_or/)

## 第59回 定期演奏会

開催日：2013年12月8日(日) 14時開演

場所：佐倉市民音楽ホール

指揮：直井 大輔

曲目：ラフマニノフ／交響曲第2番 他